

## 家畜衛生

講師名	武田 哲	実務経験等	家畜保健衛生所での獣医師としての経験を活かし、家畜衛生の重要性を理解し、牛の基本的な衛生管理方法と牛の主な疾病に係る知識を習得するための講義・実習を担当している。
-----	------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専攻科目	畜産・共通	必修	2	前期	30	2
使用教科書・副教材	自作プリント、家畜保健衛生関係リーフレット等					
授業の目的	家畜の生命及び家畜の健康保持と安定的生産を確保するためにあるのが家畜衛生である。家畜衛生の重要性を理解するのが目的である。					
授業の到達目標	牛の基本的な衛生管理方法と牛の主な疾病を覚える。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月22日	家畜衛生学	家畜衛生学の概要	2	講義	
4月28日	生産衛生と農場HACCP	農場HACCP、衛生管理ガイドライン、飼養衛生管理基準	2	講義	
5月10日	家畜伝染病の防疫	海外からの伝染性疾病的侵入防止、特定家畜伝染病防疫指針、海外における発生動向	2	事例研究	レポート
5月10日	家畜伝染病の防疫	国内の防疫体制と疾病対策、危機管理計画	2	事例研究	レポート
5月18日	飼育施設の消毒	飼育施設の消毒、伝染病発生時における消毒など	2	講義	
5月18日	家畜用ワクチンとプログラム	動物用ワクチンとは、その種類	2	講義	
5月26日	家畜用ワクチンとプログラム	ワクチネーションプログラムの概要	2	講義	
6月2日	家畜の生産環境	一般環境条件、ストレス、畜舎の換気など	2	講義	
6月14日	放牧衛生	わが国の放牧、管理と衛生	2	講義	
6月21日	輸送衛生	家畜の輸送にかかわる諸問題、輸送病	2	講義	
6月30日	家畜の中毒	家畜の中毒	2	講義	
7月9日	呼吸器疾病	呼吸器疾病の概要	2	講義	
8月25日	消化器疾病	消化器疾病の概要	2	講義	
9月13日	家畜排せつ物と畜産環境	家畜排せつ物と畜産に関する環境問題など	2	講義	
9月14日	まとめ	模擬試験ほか	2	講義	
合計			30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験の得点、学習態度、出席状況により評価する。  
 評価割合: 筆記試験70%、平常点30%(学習態度、出席状況、小テスト)

履修に当たっての留意点等

・受講に際しては、事前にプリントを配布した場合には目を通しておくことが望ましい。授業は自作プリント等に沿って行すが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。